

法人（事業所）理念	「みんなのためのスポーツ」の実現 ～ひとりも取り残さない運動療育～			 <p>発達のパラミッド</p> <p>学習・コミュニケーション 感覚 動き（姿勢） 呼吸</p> <p>発達のパラミッド 発達のパラミッド 発達のパラミッド</p> <p>統合遊びでサポート</p>				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「からだの土台」をつくる：ひとの発達の土台となる「呼吸」や「感覚」、「動き」を遊びや運動を用いて整え育みます。 ・「コーチング」的な関わり：子どもの「気づいて」「考えて」「行動する」を意図し、「問いかける」「見守る」関わり・サポートを大切にします。 ・「完全個別」対応型支援：子ども一人ひとりの個性、特性、その日の体調や様子などに合わせて、その子どもの「今」に合わせた課題を提案します。 ・「子ども主導」型支援：プログラムの選択を、子ども自身が、または支援者と交渉し決めることで、自主性・主体性を育みます。 							
営業時間	<table border="1"> <tr> <td>平日</td> <td>(開所時間) 11:00-19:00 (サービス提供時間) 11:30-19:00</td> </tr> <tr> <td>土日祝 長期休み</td> <td>(開所時間) 9:30-17:30 (サービス提供時間) 10:00-17:00</td> </tr> </table>	平日	(開所時間) 11:00-19:00 (サービス提供時間) 11:30-19:00	土日祝 長期休み	(開所時間) 9:30-17:30 (サービス提供時間) 10:00-17:00	送迎実施の有無	あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/>	活動現場をご見学いただくことでお子様の日々の成長をご覧いただき、保護者の皆様との直接の会話に基づいた支援を行っていきたく考えています。
平日	(開所時間) 11:00-19:00 (サービス提供時間) 11:30-19:00							
土日祝 長期休み	(開所時間) 9:30-17:30 (サービス提供時間) 10:00-17:00							
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>「発達の土台づくり」をテーマに、次のような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呼吸たいそう」：ひとの発達において最も土台となる「呼吸」へアプローチするたいそうを行います ・「視覚支援・支援環境の調節」：写真や絵カード、照度調節などでの環境設定を行います ・「4つの体力」へのアプローチ：4つの体力「筋力・持久力・柔軟性・調整力」を発達が著しい年齢を考慮しプログラム設定します ・「生涯スポーツ」へのアプローチ：ジョギングや卓球など「いつでも」「どこでも」「だれとでも」楽しめる種目を経験します 			 <p>ブリッジ</p> <p>逆立ち</p>			
	運動・感覚	<p>「体幹の安定」や「感覚の土台づくり」をテーマに、次のような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チットチャットたいそう」：「首と体幹の運動」をテーマに、からだの「ど真ん中」・「背面」・「逆さ」をコントロールするたいそうを行います ・「感覚の土台づくり」：感覚の土台となる「固有感覚/前庭感覚」といった無意識感覚を、遊びや運動を通して整え育てます ・「発達するメガネ（イノチグラス）」：光刺激やまぶしさのコントロールを促す、一人ひとりの目にあったカラーレンズを使用する新しい支援グッズを提案します ・「基本動作36」の経験：あらゆる運動の基本となる3要素「バランス」・「道具を操る」・「移動する」の経験を積み重ね、体育種目等の発達につなげます 			 <p>イノチグラス</p>			
	認知・行動	<p>「発達のパラミッド」や「わかりやすい環境の設定」をテーマに、次のような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発達のパラミッド」：「学習・コミュニケーション・ことば」などの「認知」面を支える「呼吸・感覚・動き」を遊びや運動にて整えます ・「超スモールステップ」：一歩ずつステップアップにつながる課題の提供を、スモールステップをさらに割いた「ベビーステップ」にて提案します ・「ノンマニュアル・プログラム」：予め用意されたプログラムではなく、「いま」「その時」の子どもに合わせて考え提案することで子ども本人の主体的な行動を促します ・「PDCAサイクル」：「どうやったらできるのか」「やってみてどうだったのか」「次はどうしようか」を子どもが思考し行動するサイクルを大切にします 						
	言語 コミュニケーション	<p>「言葉にして伝える」、「自分で選ぶ・決める」をテーマに、次のような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自己表現の経験」：その日の振り返りを「GOOD・BAD・NEXT」といった形で自分の言葉で表現する経験を積み重ねます (「GOOD」：できたことや楽しかったこと、「BAD」：難しかったことやできなかったこと、「NEXT」：次の課題や希望) ・「自己選択、自己決定の経験」：プログラムやその内容、回数を子ども自身が選択し決定する経験を積み重ねます ・「見る・聞く・待つ」：コミュニケーションや学びに大切な基本要素を遊びや運動を通して体で身につける機会を提供します 			 <p>選択・決定</p>			
	人間関係 社会性	<p>「からだ・ソーシャル・スキル」をテーマに、次のような支援を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「集団への参加の支援」：下記「移行支援」欄のような少人数から大人数までのグループ活動を展開しています ・「ルールやマナーの経験」：「ルールを学ぶ」や「挨拶」、「距離感」、「順番」、「力加減」、「役割分担」、「サポートする・してもらう」などを学ぶ経験を重ねます ・「ひとり遊びから協同遊びへの支援」：「ひとり遊び」に始まり、「スタッフとあそび」、「他の子どもと、同じ場所を共有する」、「他の子どもと、同じ遊びを共有する」、「小グループにて、皆と同じ活動を行う」などの順番を経ながら他者との活動へとつなげます 						
家族支援	<p>保護者の方々の安全・安心な環境づくりを目指した取り組みを次のように行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「座談会」：保護者同士で情報や悩みなどを共有しあえる場所の運営 ・「ヨガ教室」：心身のリラクセスを目的に外部講師を招いた教室開催 ・「保護者セミナー」：障害の特性等の理解を目的にした自社開催セミナー ・「兄弟児支援」：「家族支援加算（個別）」制度を活用したご兄弟の支援 ・「子育てサポート」制度を活用した支援内容等に関する説明やご質問への対応 	職員の質の向上	<p>「やり方」ではなく「あり方」を学び続けることで、子どもたちの力を引き出す支援ができる職員を目指し、次のような研修を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コーチング研修」：コーチングの考え方を学び実践する。「法人研修」「事業所研修」「個人セッション」など複数パターンにて展開 ・「外部講師研修」：他の分野・領域の講師を招いた研修を定期開催 ・「未来会議」：次世代を担う職員が集うアイデアや意見等の交換会 ・「他社交流」：学習塾や幼児体育など他社との勉強会・意見交換会 ・「強度行動障害研修」：専門性の強化の一端として全職員受講 					
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「関係機関連携加算」制度等を活用した保育所や学校等との情報連携や連絡調整 	移行支援	<p>○他の年齢層の子どもたちと活動を行ったり、集団での活動が体験できる事業を展開しています。</p> <p>→「野球クラブ」/「チアダンス」/「卓球クラブ」/「スポーツクラブ」/「ジョギング・ウォーキング」/「山登り」</p> <p>○地域資源を活用した活動を通して地域とのつながりを図っています。</p> <p>→「ジョギング&ウォーキング」/「野球クラブ」/「山登り」</p>					
年間を通じた行事等	<p>「参加者の交流」「保護者の方の心身のリフレッシュ」「非日常的な体験」「練習成果の発表」等を目的に開催しています。（不定期開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新大阪・弁天町での「ボウリング大会」 ・舞洲アリーナ/アミティ舞洲での「チットチャット大運動会」 ・甲子園球場での「マラソン大会」 			 <p>ボウリング大会</p> <p>チットチャット運動会</p>				
 <p>児童デイサービス チットチャット・スポーツ塾</p>								